

実践記録

学校/学年	小学校 / 6年	
教科等：単元名	道徳：「入賞作品が無断で使用されたら」	
キーワード	著作権、未発表の作品	
情報モラル指導 モデルカリキュラム表における 目標	分類	情報社会の倫理 法の理解と遵守 安全への知恵 情報セキュリティ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	c 3：情報化社会でのルール・マナーを遵守できる
	中目標項目番号 中目標項目内容	c 3 - 2：「ルールや決まりを守る」ということの社会的意味を知り、遵守する
授業会場	パソコン教室 普通教室 特別教室〔 〕 その他〔 〕	
学習の目標	入賞作品に対する著作権について確認し、無断で使用された時の気持ちを考えることを通して著作権の大切さを理解する	
使用教材	教材名	事例で学ぶNetモラル、入賞作品
	製作者	広島県教科書販売株式会社
	入手先(URL等)	長野市情報モラルポータルサイト「事例で学ぶNetモラル」

展開案

	学習活動	指導 評価
導入	1 本人の同意を得た美術展金賞入賞作品を見て鑑賞する 2 違う作品展にこの作品を応募してもいいか、考えさせる	・入賞作品のすばらしいところをじっくり鑑賞させる ・一度入選した作品を違う作品展に出すことについて考えさせる ・同じ作品がいくつもの賞を取ったらどういうことになるか考えさせる
展開	3 作品の募集要項を読み、意味を考えさせる 4 他人の作品を無断で使用した時はどうか、その人の気持ちを考える 5 「著作物の利用」を見る	・「未発表に限る」とはどういう意味か、考えさせる ・同じ作品が違う作品展に入賞作品として掲載されていたらどうなるのか、考えさせる ・この入賞作品を無断で他の人がホームページなどで紹介したら、作者はどんな気持ちになるか、考えさせる ・「著作物の利用」を見て感想を書かせる
おわり	6 「著作物の利用」について話し合う 7 著作権についてまとめる	・「著作物の利用」を見て感想を話し合わせる ・著作権について作者の気持ちを十分に考えながら本やホームページを見ることを考えさせる 著作権や著作物について利用する時の注意点が理解できたか

授業の成果

- ・実際に入選した作品について考えたことで著作物や著作権に対する重要性を身近なものとして理解することができた。
- ・自分が苦労して作った作品が認められ、それを無断使用された時の気持ちを考えることで普段目にしていないすばらしい作品に対しても大切にすることを気づかせることができた。

指導のポイント・留意点

- ・自分たちの身近なところでも著作物に対する問題が起きやすいことを理解させるために自分たちの作品を選んだ。
- ・いろいろな作品のよさを認めたり、その作品が苦労して作られたことを考えさせることでそれを保護する気持ちも生まれることを気づかせたい。